

概 説 本区は東京湾に臨み、海岸に接した平地と台地に分れる。そして、その地形に添って商工業地帯と住宅地帯を形づくり、海岸線には、東京湾を擁し、又漁業地帯を構成している。

商 業 新橋、田村町及び赤坂溜池一帯は、大小の商社が櫛比し、ここを中心としていん賑地浜松町、三田、麻布十番方面に及んでいる。区内の商店数は、7,500を数え、うち卸売業は1,800と、小売業は5,700となつている。これを東京都内の商店数に比較すると、卸売業は7.1%、小売業は4.3%を示し、年間売上高は、小売業において、約260億円、卸売業約320億円、合計580億円である。

工 業 東京港を擁する重要地点としての芝浦及び三田四国町附近は、重工業地帯を形成している。この附近は、戦災をまぬかれて、大工場がたくましい活動をつづけ、東京港附近の倉庫群と相まつて偉観を呈している。一方古川沿岸を中心に、中小企業の工場群がある。昭和29年度における区内工場数は、1,450を数え、うち金属製品製造工場がもつとも多く、全工場の約20%を占め、次いで、家具、電気機械、印刷の順になつている。年間生産額（出荷額）は320億円を超え、全部の3.8%を示している。

なお、家具工業（洋家具）は、本区の特色であつて、古い伝統と品質の優秀さは、他の追従を許さぬものがあり、生産額においても、荒川区に次いで都内第_二位を占めている。

商工相談所 終戦後の変転極まりない経済状勢下にあつて、中小商工業者の大部分が、経営困難となり、廃業または転業するものが少なくなかつた。このような状況のもとにおいて、本区は、区内における、これら中小商工業者がすみやかに立ち直り、且つ商工業の振興発展をはかるため、昭和25年12月、商工相談所を設けて、新規開業の相談から、経営面、仕入販売、広告宣伝、陳列装飾等の指導あつ旋、青色申告簿記々帳、並びに税に関する相談、企業協同組合の設立指導、その他臨店診断を行つている。特に金融難緩和の一助として、区内金融機関の協力のもとに、港区中小企業融資を実施し、好評を博している。なお、昭和30年における相談所の利用状況は別表のとおりである。